

– 変わらず生きる為に、人は変わらねばならない(山猫) – ' 10/01/20

危急時代に対応した文教政策(文部省科学技術基本計画の大幅修正試論) –

現代世界最大問題は実は隠された地上生命生存成否を賭けた**気候急変動破滅問題**、
他方米レーマン破綻後は公務員と例外産業以外では皆が経営雇用不安どん底に落とされ、
明日の生活確保が目前にある。然るに評論家も政治家も再度の経済成長を唱えるが、一向に
その具体策は見えない、それどころか借金財政出動でも税収減で一層の下降局面へ向かう、
なぜならば、何処も贅沢経済尽きて種切れになるからだ。

* 第一問：経済原初は衣食住から始まり、欲望虚栄過剰肥大の最後は何で終わる？、

だから誰も正解を持ち合わせが無いのが世界現実、それどころか繁栄を極めた頂点にある
世界エリートは己文明の致命的-破滅的欠陥を知り、今では逆転破滅自殺他殺促進陰謀
が.....なぜか?、頂点にある者は落下以外に道が無い、だが異常にプライドだけが突出!!、

単一軌道の既成価値観から別途軌道への発想転換を凶らないと救済はなかろう。判ってはいるが、皆がそれができない。一つは現代が**超専門家の時代**で**路線転換が効かないからだ**。
しかも国民多数もが贅沢貴族化して誇り高い、簡単に頭は切り替わらないのです。だが
それを唯一可能にするのが**新規学習**、しかも国民大局規模での施工となれば文教政策直結、
まだ見ぬ将来未来は推測(**論理構成、理論構築**)でしか方法が無い!!。

確かに将来予測では情報不足に起因して不確定要素が避けがたい**賭け**になるが、
やれる事だけは精一杯やって見ないと後に大後悔になるだろう。

* 「**失敗の本質**、防衛大学講師編、ダイヤモンド社」と言う書籍で**過剰適応の不適応**と
言う概念が紹介されてる。日本軍は一度ある方法で成功を収めるとその方法延長をひ
たすら追求、だがその間に時代は推移変化し、不適応が免れずと言う論。日本に限ら
ず、世界も繁栄過去延長を断ち切れずにいると言うのが現実。別名過ぎたるは及ばず
に等しい。とかく人は全てに遣り過ぎで失敗、土地住宅バブル、人事差別経営、・・

* **文部省資料：第3期科学技術基本計画（平成18～22年度）の概要：**

http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/kihon/06032816/001.Pdf

* 日本人基礎インテリジェンスを支配する文教政策、多数間違いが見える。以下では
修正部分は**赤字**等に書かれてる。緊急上程なので過不足あり、皆様も検討を、

基本理念：○基本姿勢

①国家国民が**現在、将来必要とされる科学技術開発**(需要動機!!)

既成ノウハウ組み合わせ、新規発明を問わず、その費用対**実現効果**で評価を下す
研究開発成果を社会・国民に還元⇒ **国民社会実需要への供給!**

②**科学真偽仕分け判定重視**、既成学会は官僚同様の公益に反する既成権益談合体、
国民利益視点での**科学真偽仕分け制度**が**緊急重大**。

*典型例は超深刻真相を知らされない**気候変動科学**、および**経済基礎論**(0サム定理)、**その他多数**

③人材育成**協力的環境**の重視

○科学技術の政策目標の明確化

政府研究開発投資が何を指すのかを明確にするため、3つの基本理念の下で目指すべき具体的な政策目標を設定。大目標

①**国家国民生活で、必要とされる技術開発**②**生存環境の確保第一**(科学経済の本来目的)

③④**世界に見本提供の日本**⑤**生涯はつらつ生活**⑥**生活保障が誇りとなる国**

○政府研究開発投資: 政府研究開発投資の総額規模約X兆円(計画期間中の対GDP比X%)

科学技術の戦略的重点化

○基礎研究の推進

国民生活環境(経済-福祉)-文化での基礎問題認識を源に研究→実現価値を重視。

※広域での問題発見促進、サッカーで言うリベロ(自由位置)研究者の確保も重要、

○政策課題対応型研究開発における重点化

戦略3分野{**気候変動科学**, **経済理論**, **政策科学** (観測と予測, 実現技術)}

対応する**技術開発**{**省エネ-電力エネルギー**、**食糧緊急増産技術**、**賃貸住居の低価格化方法**}

経済理論(経済回路網システム論の実用化開発、その他、経済データ形式のシステム統合化)

政策科学: **現状政治困難**一つは**政策科学の貧困**に由来、議員政策業務能力には**限度**がある、

諮問補佐提言装置としての**自然科学-社会政策-民間公立科学技術者**を大動員、

(超赤字財政と財政再建方法、国民生活保障方法理論、職業転換の**為**の速成教育法、

地域連携での**低価格厚生福祉**の方法、自衛隊員-警察官労組の**作り方**等、.....

産業構造論、**人事評価技術論**、**組織管理技術論**、..... **自主と国際連携の方法**)

推進分野(電力エネルギー&食糧、ものづくり技術、ソフト開発(通信環境も含む))

分野別推進戦略

①**気候急変動対応の生活科学一般**②**国際的な科学技術協力**③**国家基幹技術**(**地球科学**, **経済政策理論**)

大型研究チーム化が必須、管理監督者と研究員集団、施設資金-通信網整備

科学技術システム民主実用化改革

1. 人材の育成、確保、活躍の促進<現場経験者と教育機関の人材交流>

○個々の人材が活きる環境の形成

- ・若手研究者の自立支援, **社会経験者の教員-教官登用拡大**
- ・女性研究者, 外国人研究者の活躍促進

○学校の人材育成機能強化 (教員, 医師, 警察官, 司法修習生, 公務員等の
短期実業社会体験必須履修制度)

○社会のニーズに応える人材の育成

○次代の科学技術を担う人材の裾野の拡大

○英語に並行する **第二外国語の高校導入**、国際化死活に通じる真剣勝負対応、
伝統的文法教師&教室に寄らない **視聴覚反復語学速成高効率学習マシン**導入、

○全国民全年齢に開かれた学校<教育年齢を既成体制の如く限定せず、開放化する>.

*終業後の定時制学校通学週5日はきついが、2,3日ならばかなり楽で、その分就学年期間延長
単位履修積算で長期就学卒業の手立てもある。 **転業可能性を促進する。**

*失業者がいつでも職業転換対応の希望履修できる教育体制、

○全国民全年齢に開かれた **民間委託実業現場教育**<現場での教育&生活政府補助>.
電力エネルギー農林水産業、そのほか運輸通信サービス、建設製造業等

* **全国民生涯学習研究姿勢**<課題は本人職業趣味希望と能力次第の選択、その支援システム>
ウェブサイトを、地域無料志願教員-教室等での低価格教育普及と技術能力認定評価制度、

*自由講師、自由聴講者による自主講座と公的施設開放、

*TV視聴と無芸大食は本人も国家も減ぼす、だから暇人と失業者はひたすら教育研鑽、

*体力健康増進、医療費削減策としての多岐なスポーツ奨励、付帯施設整備

* **高額な箱物を作らず、既成品の多岐転用法推奨で低価格化<費用効果の厳格評価>**

2. 問題興味発見の人材育成としての **問題発見第一の教育研究法(全国民研究者化)** :

○実地体験に基づく問題意識発芽助長と自発的学習態度の育成

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/manage/20090407/191216/?P=2>

実地体験に基づく興味関心発芽助長と自発的技術習熟態度の育成&専門家下の教育

○数学物理学教育改革、最新成果の導入

○心理学-宗教-思想教育研究(人生論, 自己分析, 対人評価, 対人技術)の有効性認識と
その全国普及、宗教予言の科学根拠解明化、人生現場のトラブル解消で有効必須!

○芸は己の身も他人健康をもを助ける!

多様な趣味、絵画音楽等、芸能スポーツ教育積極推進、

*TV視聴無芸大食は国家も減ぼす、失業者と暇人はひたすら知力-体力研鑽、福祉奉仕参加

3. 科学技術-国民創造力育成開発のための基盤の強化（誰もが学習者、誰もが教師）、
*現代世界困難状況の一つ決定的理由は個人努力では解決し得ない制度システム問題、
気候急変動の超深刻な現実、産業雇用財政の世界的破綻状況の超深刻な現実、
それは“**金融運転=成長経済のドグマ**”に起因して世界を破滅へ追い込んでるのだ。
資本主義-社会主義**再検証の基礎論**からやらないと根源解決が無いだろう。その自覚が
前提ではなかろうか。危機こそは変化への機会と見なければならない。

○**巨額無駄徒労で有害な受験制度抜本改革としての国家統一水準測定試験制度、
高校推薦制度、予備校解体と職業技術速成学校への大規模転換、**

○中学高校における**真偽仕分け科学基礎**である**論理学**最新成果の大幅導入とその教育普及、
計算数学から概念数学、最新気候変動科学、量子科学諸成果等の大幅導入とその教育普及、
参考書：鈴木基司、思考推進言語と真相世界, 時事問題解析工房, 2002
鈴木基司、現代物理科学最前線, 時事問題解析工房, 2002

○**{リーダー育成と組織合意の技術開発}と教育普及：**

創造的、民主的組織リーダ技術と組織合意(集団討論と同意形成)の初等教育からの導入

○基礎、および先端科学等の一般成人向け教育普及法の開発

○以上以下は国策推進だが、実施は地方行政委託になる部分が多い、その連携方法確立、

4 国際活動の戦略的推進

もう国境、国旗を言い出すと世界救済がない、これを判らせる方法、

他方民族自決とその固有文化は相互理解で尊重せねばならない。

*技術をもつ国内失業者を、途上国等での需要に応じれば職場&生活確保の両立、
この時、問題になるのが語学力(語学教育)、

5 社会・国民に支持される科学-芸術技能-運動競技、地域社会奉仕志願制度、

○**権威専門家任せでない、国民参加型の科学-芸術芸能文化**
(高度科学芸術を素人にも判らせる教育法開発)、

○**全国民が何らかの形で科学技術-芸能芸術等に関与の生涯学習研鑽の姿勢とその**
補助推進環境整備、身近な必要、身近な興味、すなわち小学校夏休み自由研究の生涯版、
転じてビジネスにもなりえる、

○失業者と暇人は知力-体力研鑽, 福祉志願奉仕等での現場実習への参加機会を
社会活動全般での**志願奉仕制度**は政策実現低価格化になる、
家庭や企業学校に閉じこもりがちな今の国民の社会連帯自覚意識向上にもなる。